

学校経営計画

令和8年度 大田原市立大田原中学校

大田原市立小中学校教育方針

◆ 基本方針

21世紀社会の担い手として、豊かな心と創造力、そして、心身ともに健康で自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質・能力を身に付け、郷土を愛し、国際的視野に立って判断できる児童生徒の育成をする。

そのために、創意と工夫に満ち、義務教育9年間を見通した開かれた特色ある学校経営のもと、教育基本法の理念を生かし、変化の激しいこれからの社会を生きる子供たちに「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」の3つの要素となる**社会適応力**（「生きる力」）を着実に育む教育を実践する。

◆ 目標

- 1 健康・安全教育の徹底を図り、自他の生命を尊重する心を育成する
- 2 確かな学力の定着を図り、個性を生かし主体的に学ぶ力を育成する
- 3 心豊かで体力に満ちた児童生徒を育成する
- 4 自己有用感の高い児童生徒を育成する
- 5 日本人としての自覚を持ち、国際社会に適応できる力を育成する



1. 教育目標

知性の涵養 自律学習

望む未来を自身で示し、つくり上げていくことが求められる時代に向け、自ら学び、考え、判断し、行動できる資質・能力を育成する。

体力の充実 体力増強

活動の源である気力と体力を充実させ、豊かな人生やよりよい社会の創り手となるための資質・能力を育成する。

品格の育成 礼儀の厳正

感性や自己有用感を大切にしながら、豊かな心や社会性を培い、品位を備え、礼儀正しく、他を思いやることのできる資質・能力を育成する。

2. 学校経営の方針

安全・安心な環境と地域や保護者からの信頼を基盤に、本校生徒のもっているよさである（真剣な学習態度・活発な生徒活動・落ち着いた生活態度等）を継承しつつ、「社会に開かれた教育課程」のもと、全ての生徒たちの可能性を引き出しながら、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ（**well-being**）を実現できる質の高い教育を推進し、生徒や教職員が誇れる「地域とともにある学校」の実現をめざす。（※「**文武両道**」を実践し、**人格を高める**）

◆ 確かな学力の育成に向けた学習指導の充実

文

最重点
「文武両道」

武

◆ 部活動・生徒会活動での生徒の主体的活動の充実
◆ 心の教育の充実

3. めざす学校像

- (1) 生徒が自分のよさや可能性をメタ認知しながら学びを深め、自己実現していくことができる学校
- (2) 生徒が生涯にわたってたくましく生きるために、健康を保持・増進し、体力を高めていくことのできる学校
- (3) 生徒が自己肯定感・自己有用感を有しながら規範意識をもち、豊かな情操や道徳性を伸ばしていくことのできる学校
- (4) 教職員が質の高い教育活動を推進していくために、組織力と同僚性を生かしながら、連携と分担によるカリキュラム・マネジメントができる学校
- (5) 新しい時代の教育や保護者、地域のニーズや実態に対応していくために、学び続けることができる教職員を育成していくことのできる学校

4. 本年度の基本方針及び努力点

(1) 小中一貫教育の充実

西原小学校・紫塚小学校と協働で、**社会適応力（生きる力）**の育成を重点とした小中一貫教育を推進していく。

- 9年間を見通した系統性・継続性のある教育課程の編成と実施に努める。
- グローバル化する時代に国際人として活躍することができるよう英語教育の充実に努めていく。
- 小学校と連携しながら、**教育 DX**の推進に努める。（情報活用能力の育成、校務の効率化等）

(2) 学力の向上

新しい時代に必要とされる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現や各種マネジメントの確立に努めていく。

- 生徒も教員もそれぞれの立場で、学びのPDCAサイクルを確立し、自己の学びや授業の質が深まるようマネジメントしていく。（**個別最適な学びと協働的な学び**）
- 教科書や良書の精読と多読及び問題演習などをととして、文章読解力の向上をめざしていく。

(3) 生徒主体の活動の充実

生徒のエージェンシー（自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力）の育成に努めていく。

- 生徒の自主性と主体性の育成をめざした特別活動、生徒活動等の実践に努めていく。
- 生涯にわたって健康で安全な生活を送るために必要な知識と体力を養えるようにしていく。
- 自分のよさや可能性を認識させ、自らの生き方の探求とキャリア形成を促進する。

(4) 規範意識の高い生徒の育成

発達支持的生徒指導を充実させ、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めながら、道徳心や規範意識の高い生徒の育成に努めていく。

- 「ならぬものはならぬ」という毅然たる温度差のない生徒指導を実施していく。その際、生徒自ら考え、判断し、自己決定ができるよう支援していく。（自己指導能力の伸長）
- 不登校の予兆、いじめ等の早期発見と、個に応じた（早期）対応及び予防的な指導を充実させる。

(5) 学年・学級経営の充実

生徒の自己実現に向け、先を見通した戦略的な学年経営の下、共同歩調での学級経営を推進する。

- 生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるための場面の設定と支援の充実に努めていく。
- 生徒の特性等を共通理解し、心に寄り添う相談・指導・支援を充実させるとともに、**インクルーシブ教育を推進する**。
- WEBQU や各種調査の結果を活用しながら、集団としての状態を把握し、課題の早期発見と適切な支援に努める。

(6) 地域とともにある学校づくり

家庭・地域との連携・協働を推進し、生徒が社会に参画する意識や地域への愛着や誇りをもち生活できるよう努めていく。

- 学校運営に地域の声を生かすために、コミュニティ・スクールを**基盤とした**、地域とともにある学校づくりを進めていく。
- 学校ホームページ・校務支援システム・tetoruなどを十分に活用しながら、保護者や地域に生きて働く情報を発信していく。